

自動校正機能付

pH計 AH-151

pH電極の薬液洗浄、標準液校正を自動化。
メンテナンス作業の大幅な削減が可能です。



●製品の外観は、仕様により異なる場合があります。

校正液の使用量は当社従来比の1/5以下。 ランニングコスト低減に貢献します。

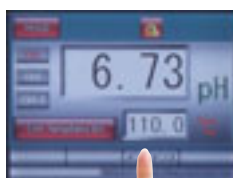
※pH電極が新品の場合

自動校正機能付pH計 AH-151は、自動的に電極の薬液洗浄および標準液校正を行い、pH測定を行うためメンテナンス作業の大幅な削減が可能です。また、校正液の噴霧化により使用量を低減。薬液も汚れの状況に応じて噴霧量の調整が可能になり、コスト削減に貢献します。定期的な洗浄・校正により、安定した信頼性の高いpH測定ができます。

自動校正機能付 pH計 AH-151

▶カラータッチパネル液晶で簡単操作

5.7インチタッチパネルにより視認性、操作性が向上。自動校正時の電極特性が自動グラフ化により、電極寿命の見極めが容易です。



▶ユニット納入で据付簡単

取付金具、昇降ユニット以外はユニット化しているため据付が簡単です。

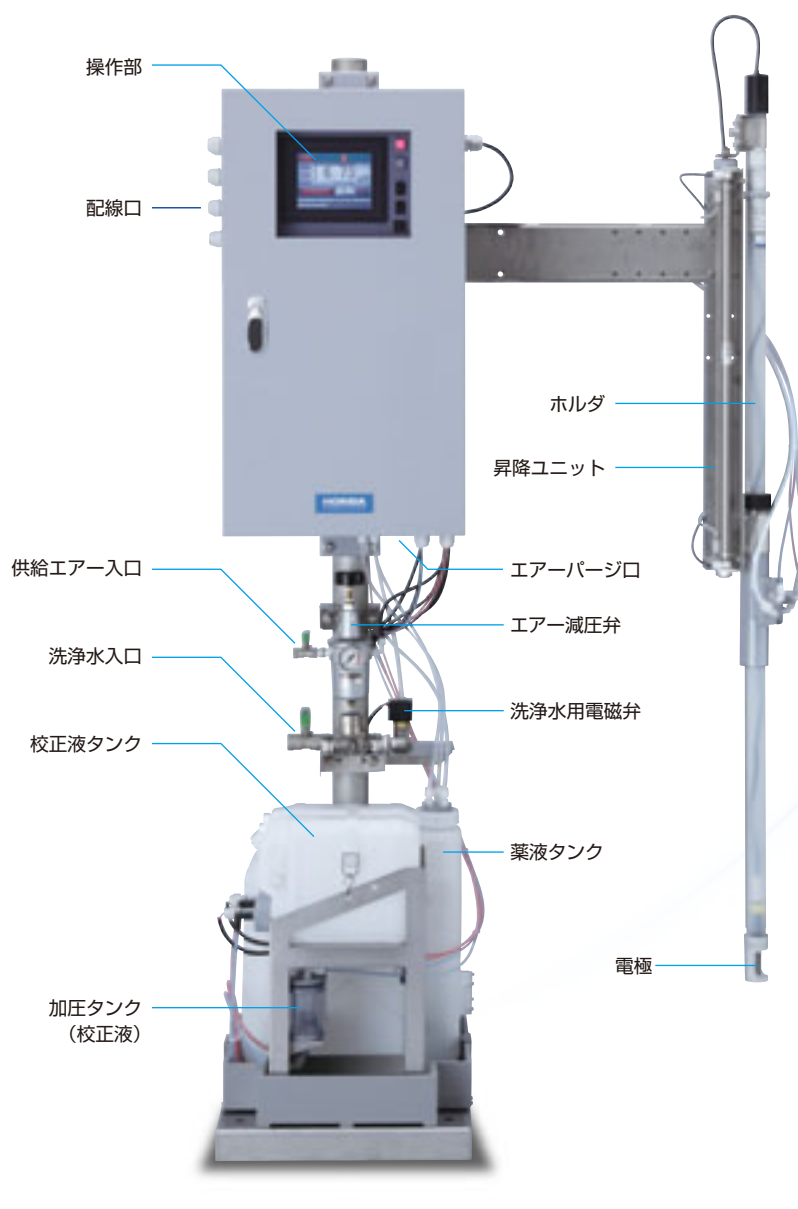
▶ランニングコストの低減

- 校正液を噴霧化することにより校正液の使用量を減らしました。
- 薬液使用量を汚れの状況に応じて50mL、75mL、100mLと洗浄1回当たりの噴霧量から選択が可能です。(標準は50mLに調整)

▶自己診断機能の充実

測定値異常やセンサ劣化などの自己診断機能を標準装備しており、電極や装備の異常に対する迅速な対応に役立ちます。

■メンテナンスが便利な 自動昇降機能



■AH-151

A-A断面図
(アンカーボルト取付方法)

■AH-151-CH (浸漬形)

pH電極(6108)

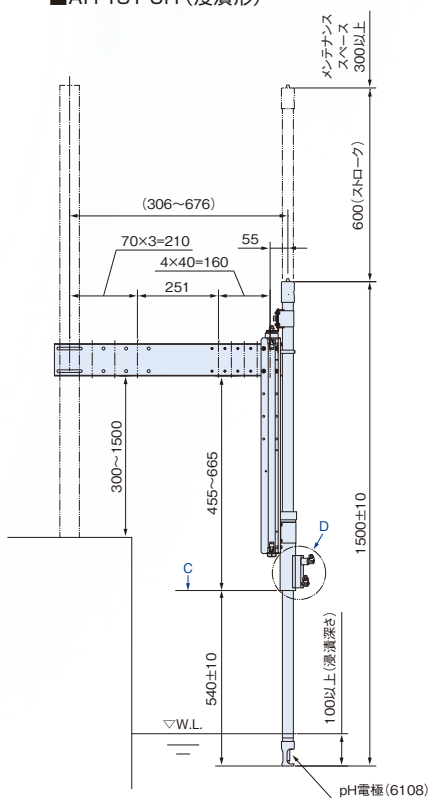
■AH-151-CF (流通形)

■AH-151-FK (採水形)

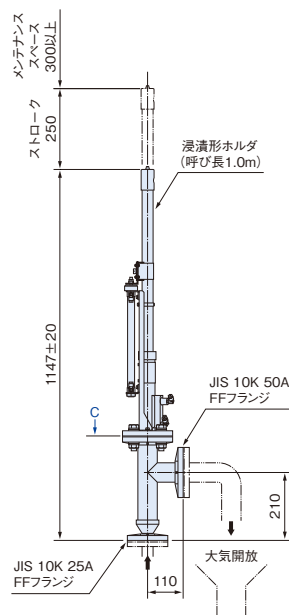
【注記】

- ①BのレベルはCのレベルに対して、+2m以内、1m以内のこと。
- ②昇降ユニットのD部が測定液に浸らないようにしてください。
- ③指定な寸法公差は、JIS B0405公差等級vに準ずるものとします。
- ④昇降ユニットと操作部ユニット間のチューブの長さは最大5mとしてください。
- ⑤流通形ホルダ出口側配管は最短で大気開放として、流通ホルダ内に圧力がかからないようにしてください。

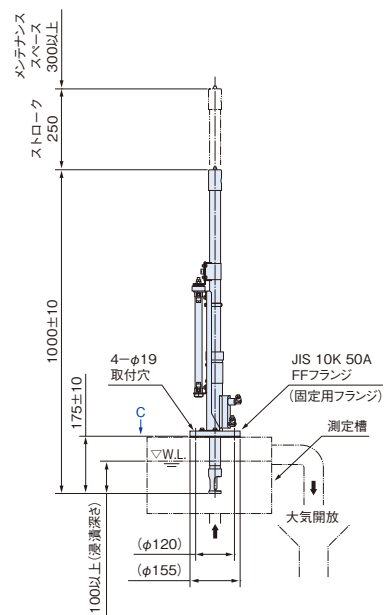
■AH-151-CH (浸漬形)



■AH-151-CF (流通形)



■AH-151-FK (採水形)



【注記】

- ①BのレベルはCのレベルに対して、+2m以内、1m以内のこと。
- ②昇降ユニットのD部が測定液に浸らないようにしてください。
- ③指定なき寸法公差は、JIS B0405交差等級vに準ずるものとする。
- ④昇降ユニットと操作部ユニット間のチューブの長さは最大5mとしてください。
- ⑤流通形ホルダ出口側配管は最短で大気開放として、流通ホルダ内に圧力がかからないようにしてください。

仕様

製品名	自動校正機能付 pH計
形式	AH-151-CH (浸漬形)、-CF (流通形)、-FK (採水形)、
測定方式	ガラス電極
測定範囲	pH: 0~14 表示分解能: 0.01pH 温度: 0~100℃ 表示分解能: 0.1℃
表示部	タッチパネル(TFTカラーLCD)
繰り返し性	pH: ±0.02 pH 以内、温度±0.3℃ (等価入力にて)
直線性	pH: ±0.03 pH 以内、温度±0.3℃ (等価入力にて)
伝送出力	出力点数: 2点、出力形態: DC 4~20mA 入出力絶縁形、負荷抵抗: 最大900Ω 出力範囲1: pH: 測定範囲内で任意に設定 出力範囲2: 温度: -10~110℃の範囲内で任意に設定 ホールド機能: 直前値ホールド、任意値ホールド、ホールドなし より選択設定
接点出力	出力点数: 9点・1点 (異常警報)、出力形態: 無電圧接点出力、 警報内容: 校正エラー (不斉電位異常、感度異常、応答時間異常)、電極異常 (ガラス応答膜割れ、温度センサ短絡、温度センサ断線)、 変換器異常 (CPU異常、ADC異常、メモリー異常)、洗浄液不足、校正液不足
洗浄周期	0.1~168.0 時間、次回開始月・日・時刻を設定、洗浄時間: 約2分 (初期設定値)
校正周期	1~999時間、次回開始月・日・時刻を設定、校正時間: 約5分 (初期設定値でpH電極が新品の場合)
接点入力	入力点数: 3点、接点形態: オープンコレクタ無電圧a接点、接点機能: 洗浄動作外部指令 (自動洗浄開始、自動校正開始、待機指令)
通信機能	RS-485 2線式、入出力絶縁形 (ただし、伝送出力とは非絶縁)
組み合わせ電極	6108シリーズ
校正方法	自動校正 (リフトアップ式標準液噴霧校正) または、手動校正
洗浄方法	リフトアップ式薬液洗浄
自己診断機能	校正エラー、電極診断エラー、変換器異常
試料水条件	圧力: 大気圧、温度: -5~80℃、流速: 2m/sec以下、流量: 10L/min以下 (流通形のみ)、電気伝導率: 10mS/m (100μS/cm) 以上
校正液	2点 (pH7とpH4もしくはpH9)、消費量: 約30~40mL/min (Max.200mL/1回)、容量: PEタンク 3L (15~50回校正可能)
洗浄用薬液	HCl: 5~10%未満、消費量: 約50mL/1回 (約75,100mL/1回 調整可能)、容量: PEタンク 20L (50mLで、約300回洗浄可能)
洗浄水	水質: 水道水相当 (工業用水可)、圧力: 0.2~0.75MPa、消費量: 10~20L/洗浄、校正1回 (洗浄時間は初期設定の場合)
供給エア	質: 計装エア、圧力: 0.3MPa~0.7MPa、消費量: 10~15L/min
配管接続口	供給水: Rc1/2、空気: Rc1/4
配線口	φ7~φ12用ケーブルグランド8個 (ケーブルグランドを外すとφ21.5穴)
動作温度範囲	0 ~ 50℃ (凍結しないこと)
電源	電源電圧範囲: AC100~240V ± 10%、50/60Hz、消費電力: AC100V 定常時 約20W、自動校正時 約35W
構造	屋外設置形: JIS C0920 防じん・防まつ形 (IP54相当)、制御部ケース材質: SPCC (エポキシ変性メラミン樹脂塗装)、取付金具: SUS304、スタンド: SUS304
質量	操作部・ポールスタンド: 約60kg、取付金具: 約3kg、昇降ユニット (浸漬形): 約1.5kg (浸漬形ホルダは除く)

※伝送出力、接点入力、通信には、アレスタ(放電開始電圧400V)を実装していますが、周囲環境や機器設置状況、外部接続機器などに応じて接続ライン上に最適なサージ吸収素子を組み込んでご使用ください。

当社は「電気・機械器具設置一式工事業」の認可を取得しています。
計測器の納入から設置工事まで、幅広くご用命ください。

一般電気工事業
(京都府知事許可 第31979号)

一般機械器具設置工事業
(京都府知事許可 第31979号)

IMS

HORIBAグループでは、品質ISO9001・環境ISO14001・労働安全衛生OHSAS18001を統合したマネジメントシステム (IMS:JQA-IG001) を運用しています。
さらに事業継続マネジメントISO22301を加え、有事の際にも安定した製品・サービスを提供できるシステムに進化しました。

⚠️ 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

- このカタログの記載内容については、改良のために仕様・外観等、予告なく変更することがあります。●このカタログの製品詳細については別途ご相談ください。
- このカタログと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合もあります。●このカタログに記載されている内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- このカタログに記載されている製品は日本国内仕様です。海外仕様については別途ご相談ください。●このカタログで使用されている製品画面は、はめ込み合成です。
- このカタログに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

〈製造・販売元〉

株式会社 堀場アドバンステクノ

〒601-8306 京都市南区吉祥院宮の西町31番地 (075)321-7184(代)
http://www.horiba-adt.jp

東 北 (022) 776-8253(代)	東 京 (03) 6206-4751(代)	名古屋 (052) 937-0812(代)
大 阪 (06) 6390-8211(代)	四 国 (087) 867-4841(代)	広 島 (082) 281-2001(代)
		九 州 (092) 292-3595(代)

〈販売元〉

株式会社 堀場製作所

〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 (075)313-8121(代)
http://www.horiba.co.jp e-mail: info@horiba.co.jp

東 北 (022) 776-8251(代)	東 京 (03) 6206-4721(代)	名古屋 (052) 936-5781(代)
大 阪 (06) 6390-8011(代)	四 国 (087) 867-4800(代)	広 島 (082) 288-4433(代)
		九 州 (092) 292-3593(代)

〈サービス〉

株式会社 堀場テクノサービス

本社／京都 〒601-8305 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 (075)313-8125

北海道 (011) 207-1801	埼 玉 (048) 298-6871	名古屋 (052) 705-0711	四 国 (087) 867-4821
東 北 (022) 776-8252	東 京 (03) 6206-4750	北 陸 (076) 422-6112	広 島 (082) 283-3378
福 島 (024) 925-9311	西東京 (042) 322-3211	三 重 (059) 340-6061	山 口 (0834) 61-1080
栃 木 (028) 634-6098	横 浜 (045) 478-7018	京 都 (075) 313-8125	九 州 (092) 292-3597
千 葉 (0436) 24-3914	富 士 (0545) 33-3152	大 阪 (06) 6150-3661	大 分 (097) 551-3982
鹿 島 (0299) 91-0808	浜 松 (053) 464-1339	兵 庫 (079) 284-8320	熊 本 (096) 279-2985
つくば (029) 863-7311	東 海 (0565) 37-3510	岡 山 (086) 448-9760	

カタログNo. HAJ-T0187Ca

この印刷物は、E3PAのシルバー基準に適合し地球環境負荷に配慮した印刷方法にて作成されています。
E3PA・環境保護印刷推進協議会



Printed in Japan 1712SK00